

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名	老人福祉館					所管	福祉部 高齢福祉課	
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和47年度	
		[小 柱]					[終了予定] - 年度	
		[施 策]						
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	台東区立老人福祉施設の設置に関する条例および同条例施行規則					
事業対象	区内に住む60歳以上の方							
事業目的	地域の高齢者が健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにするため、高齢者に活動の場を提供する。							
事業内容	地域の高齢者に対して各種の相談に応じ、健康の維持・増進、教養の向上や交流の場を提供する。 (老人福祉館の事業内容:各種相談、ことぶき教室、コンサート、移動寄席、マッサージ、入浴サービス、健康づくり・介護予防、サロン等)							
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	入谷老人福祉館・橋場老人福祉館・三筋老人福祉館の管理運営					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	健康づくり(介護予防)事業実施回数	回	250	192	201	330	
		ことぶき教室実施回数	回	300	300	300	300	
	成果指標	延利用者数	人	91,000	95,484	91,485	84,585	
		健康づくり(介護予防)事業・ことぶき教室参加者数	人	9,600	9,553	8,768	9,590	
	決算額	(単位:千円)			56,966	56,204	59,767	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			1,360	1,283	1,783	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			55,045	55,949	59,767	
		(単位:千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			1,922	255	0	
		総経費			58,327	57,487	61,550	
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			30	28	26		
	(単位:千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			296	210	145		
	一般財源(区負担額)			58,001	57,249	61,379		
前回評価から改善した事項	介護予防事業の実施回数を増やす等サービスの向上を図った。また、各老人福祉館においては必要に応じてトイレの洋式化工事や浴室内の改修工事等を行い、利用者の利便性の向上に努めた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	地域での高齢者の介護予防や生きがいづくりの拠点としてニーズは高い。					
	効率性	3	イベントや講座の内容に工夫を凝らし、効率的な運営に努めている。					
	手段の適切性	3	各館独自の、多くの行事を実施し、地域の高齢者の生きがいづくりに貢献している。					
	目的達成度	3	延べ利用者数は減少したものの、健康づくり(介護予防)事業の実施回数を増加させるなどサービスの向上を図り、当該事業の参加者数は増加している。地域の高齢者が集まり活動する場としての機能は果たしている。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
高齢者人口の増加に対応し、高齢者の身近な活動拠点として定着している。引き続き老人福祉センターを中心として相互に連携を取り、利用者数の増加を図りながら、事業運営を進めていく。集会室については、より有効に活用し、利用率の向上を図るため、個人又は少人数でも利用できるよう、利用要件の見直しを図っていく。								